

医師の
「スマートフォン&タブレット型端末」
利用意向調査

平成22年7月1日

株式会社QLife(キューライフ)

調査の背景

昔から、「医師の間では、一般に比べてアップルのシェアが高い」と言われる。最近、アップルが販売実績を伸ばしているスマートフォン(例:iPhone)やタブレット型端末(例:iPad)においては、医師はどの程度所有し、あるいは所有予定なのだろうか?その実態と、利用目的を調査し、「医療現場ならではの使い方」があるのかを探った。

結論の概要

1)スマートフォンの所有/所有予定の医師は、それぞれ8.7%/18.7%。関心層は、病院勤務医も開業医も3割に満たないが、実際に購入するのは勤務医が先行しており、開業医の2倍近い。具体的な機種は、iPhoneが81.7%。

2)スマートフォン所有/所有予定の目的は、「医薬品や治療法の情報検索・収集(辞書利用含む)」が圧倒的に多い。「スケジュール管理」や「患者情報の管理(カルテや画像データ含む)」が続く。新デバイスの特徴である、「アプリ」の多様性に注目しているドクターも多い。

3)タブレット型端末の所有/所有予定の医師は、それぞれ5.0%/12.3%。関心層は、病院勤務医・開業医ともに17.3%だが、実際に購入するのは勤務医が先行しており、開業医の2倍。具体的な機種は、iPadが84.6%と圧倒的で、そのほかではKindleが勤務医と開業医とで差が大きく開いた。

スマートフォンとタブレット端末の両方を持っているドクターは、1%に満たない。

4)タブレット型端末の所有/所有予定の目的は、「論文や医学誌等を閲覧」など専門分野のコンテンツを閲覧・保管が最も多い。続いて「メールやWeb利用」、「スケジュール・労務の管理」が挙げられた。その他では「学会発表用資材作成」「医療画像閲覧読影」「手術ビデオ」等が挙げられた。

なお、「患者への説明ツール」「カルテなど患者資料の閲覧」「医療関係者間の説明ツール」の3目的は、開業医に特徴的に意向が大きい。

【調査実施概要】

▼調査責任
株式会社QLife

▼実施概要

- (1) 調査対象: 全国の医師
- (2) 有効回収数: 300人 (診療所開業医150人、病院勤務医150人)
- (3) 調査方法: インターネット調査
- (4) 調査時期: 2010/6/25～2010/6/28

▼有効回答者の属性

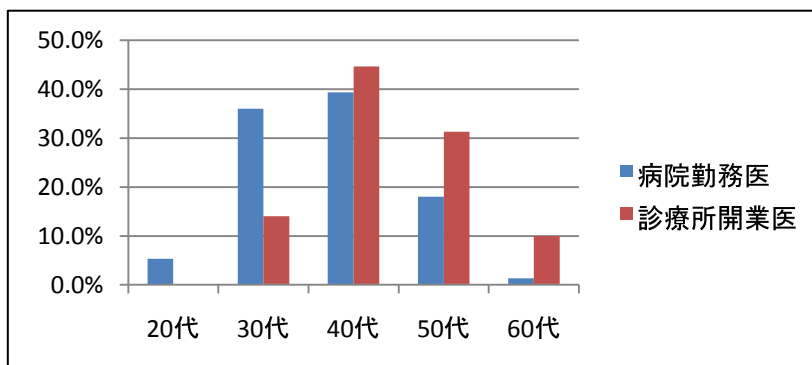
(1) 性・年代:

	男	女	計
20代	2.3%	0.3%	2.7%
30代	17.7%	7.3%	25.0%
40代	35.7%	6.3%	42.0%
50代	23.3%	1.3%	24.7%
60代	5.3%	0.3%	5.7%
計	84.3%	15.7%	100%

(2) 居住地:

北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬
5.7%	1.3%	1.0%	2.0%	1.0%	0.7%	0.3%	1.0%	2.7%	1.3%
埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野
1.0%	5.0%	13.3%	6.3%	1.3%	0.7%	1.7%	0.0%	0.7%	1.0%
岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
1.3%	2.0%	4.3%	1.3%	1.3%	3.3%	7.3%	3.0%	1.3%	1.0%
鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡
0.7%	0.7%	2.0%	2.3%	0.7%	1.0%	2.0%	2.7%	1.0%	5.3%
佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄			
0.3%	2.0%	2.7%	1.0%	0.3%	0.7%	0.3%			

(3) 勤務先:



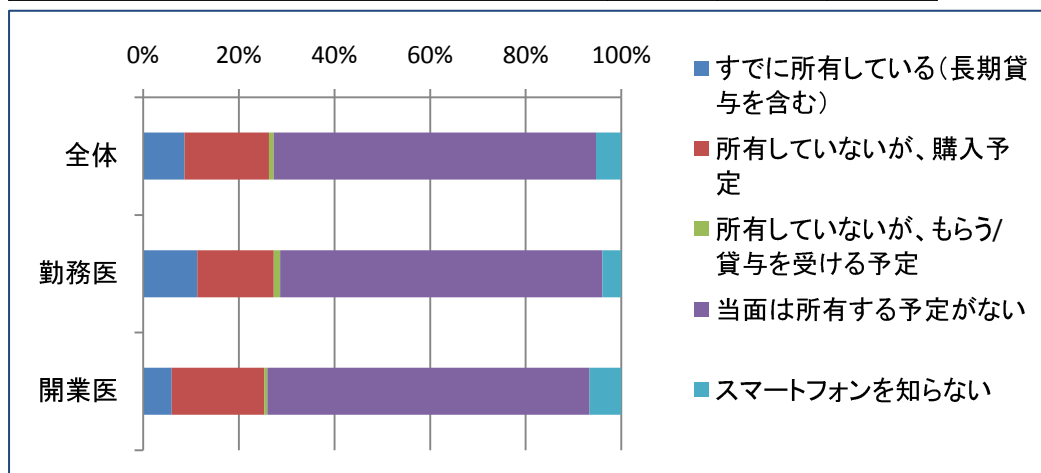
【調査結果の詳細】

1. 【スマートフォン】を、お持ちですか。または購入してみたいと思いますか。

※【スマートフォン】とは：携帯情報端末(PDA)と電話機が融合した携帯端末を指します。【タブレット型端末】よりも小型です。本日現在では、iPhoneが最も販売実績があります。

スマートフォンの所有状況を確認したところ、全体で8.7%がすでに所有しており、18.7%が所有予定であった。関心層(所有済み+所有予定)の比率は、病院勤務医28.7%・開業医26.0%とあまり変わらないが、実際に行動に移すのは勤務医が先行しており、開業医の2倍近くがすでに利用開始している。

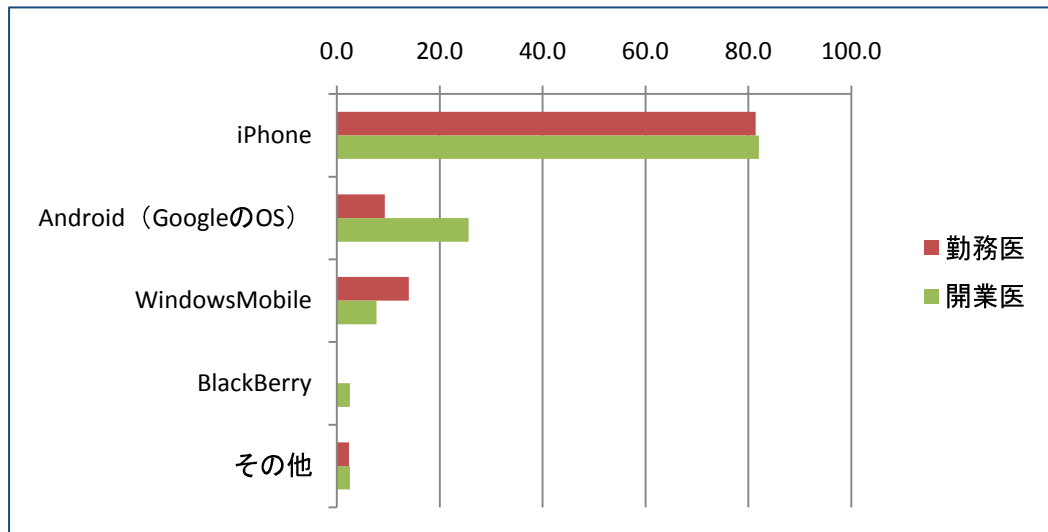
	%		
	全体	勤務医	開業医
すでに所有している(長期貸与を含む)	8.7	11.3	6.0
所有していないが、購入予定	17.7	16.0	19.3
所有していないが、もらう/貸与を受ける予定	1.0	1.3	0.7
当面は所有する予定がない	67.3	67.3	67.3
スマートフォンを知らない	5.3	4.0	6.7
合計	100.0	100.0	100.0



2. どのスマートフォンをお持ちですか。

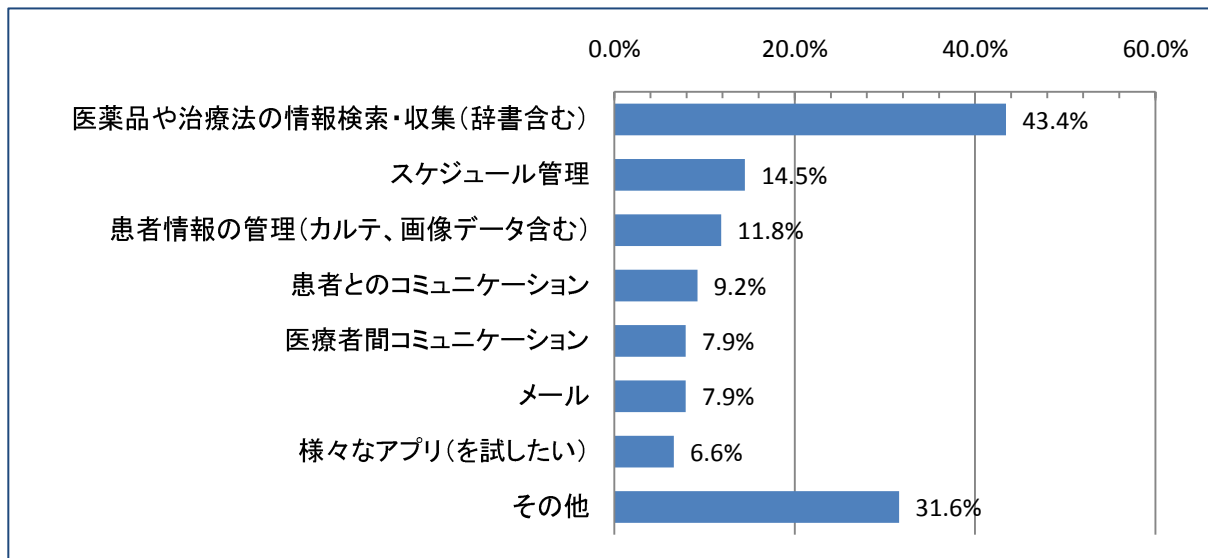
所有者および所有予定者に具体的な機種を聞いたところ、iPhoneが8割を超えた。iPhone以外では、開業医ではAndroid端末を志向する人が多く、勤務医ではWindowsMobileの所有者/予定者が多い。

	%		
	全体	勤務医	開業医
iPhone	81.7	81.4	82.1
Android(GoogleのOS)	17.1	9.3	25.6
WindowsMobile	11.0	14.0	7.7
BlackBerry	1.2	0.0	2.6
その他	2.4	2.3	2.6
合計	113.4	107.0	120.5



3. どんなことにスマートフォンを、利用しています/したいですか。※ゲーム遊びなど、仕事以外での利用方法は除外します。〈自由記入式回答〉

所有者および所有予定者に、その利用方法を尋ね、自由記入された回答内容を分類したところ、「医薬品や治療法の情報検索・収集(辞書利用含む)」が、圧倒的に多かった。新デバイスの特徴である、「アプリ」に注目した回答もみられた。



▼『医薬品や治療法の情報検索・収集(辞書含む)』の例

治療方法の検索、薬剤情報検索など	開業医	男性	60才	徳島
文献のPDFを見る、文献検索、薬を調べる	勤務医	女性	41才	東京
医療専門英語辞書 医療統計	勤務医	女性	42才	千葉
医療情報をムービーで見たい	開業医	男性	60才	広島

▼『患者情報の管理(カルテ、画像データ含む)』の例

CTなどの映像を手元で見られるとともに、応急マニュアルなどの復習などを見たい。	開業医	男性	33才	東京
病院でしている検査(分娩監視装置)をリアルタイムでみたい	開業医	男性	47才	三重
VPNによる患者情報の共有	開業医	男性	51才	神奈川

▼『患者とのコミュニケーション』の例

今後、患者への説明にも活用したい。	開業医	男性	51才	香川
翻訳ソフトを外来での日本語が話せない患者に使用してみたい。	勤務医	男性	29才	神奈川
患者さんに対するの医療相談等。	開業医	男性	49才	福岡

▼『医療者間のコミュニケーション』の例

標本写真やレントゲン等の他の医師・診療科・他院との意見交換、診断補助等に利用している。	開業医	男性	51才	香川
救急外来などでの、所見、外観、XPなどを専門家に送信、意見交換など。	勤務医	女性	39才	北海道

▼『様々なアプリ(を試したい)』の例

色覚検査が出来るアプリを使用している。	勤務医	男性	29才	神奈川
臨床で使えるアプリを色々使ってみたい	開業医	女性	38才	滋賀
BSAなど医学関連の計算	勤務医	男性	36才	群馬

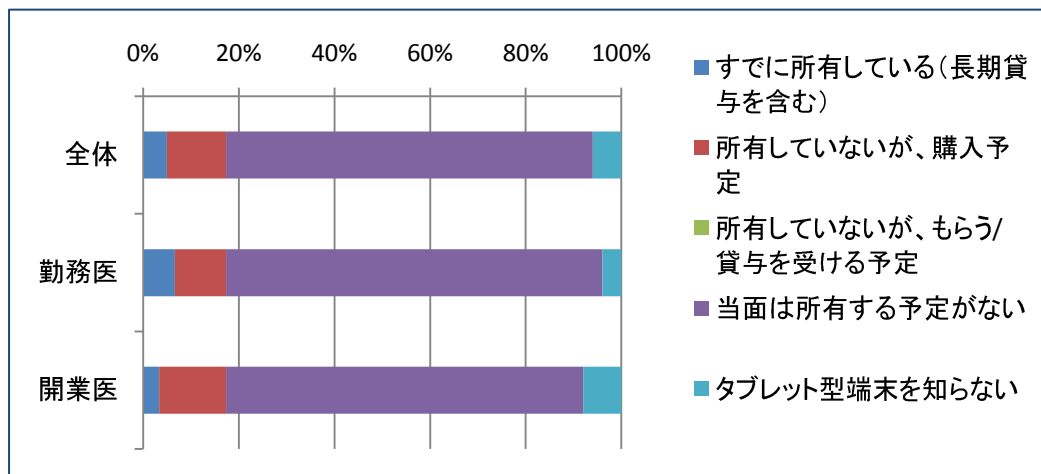
注:BSA=Body Surface Area:体表面積。これにより薬剤の適切な投与量を決定する場合がある。

4. 【タブレット型端末】を、お持ちですか。または購入してみたいと思いますか。

※【タブレット型端末】とは：スクリーンを指先でタッチして操作する携帯型コンピュータを指します。本調査ではアマゾン社のキンドルなど電子書籍用端末も含むものとします。【スマートフォン】よりも大型です。本日は現在では、iPadが最も販売実績があります。

タブレット型端末の所有状況を確認したところ、全体で5.0%がすでに所有しており、12.3%が所有予定であった。スマートフォンの場合と同様に、関心層（所有済み+所有予定）の比率は、病院勤務医・開業医ともに17.3%と同じであったが、実際に行動に移すのは勤務医が先行しており、開業医の2倍の人がすでに利用開始している。スマートフォンとタブレット端末の両方を持っている人は、まだ1%に満たなかった。

	%		
	全体	勤務医	開業医
すでに所有している（長期貸与を含む）	5.0	6.7	3.3
所有していないが、購入予定	12.3	10.7	14.0
所有していないが、もらう/貸与を受ける予定	0.0	0.0	0.0
当面は所有する予定がない	76.7	78.7	74.7
タブレット型端末を知らない	6.0	4.0	8.0
合計	100.0	100.0	100.0

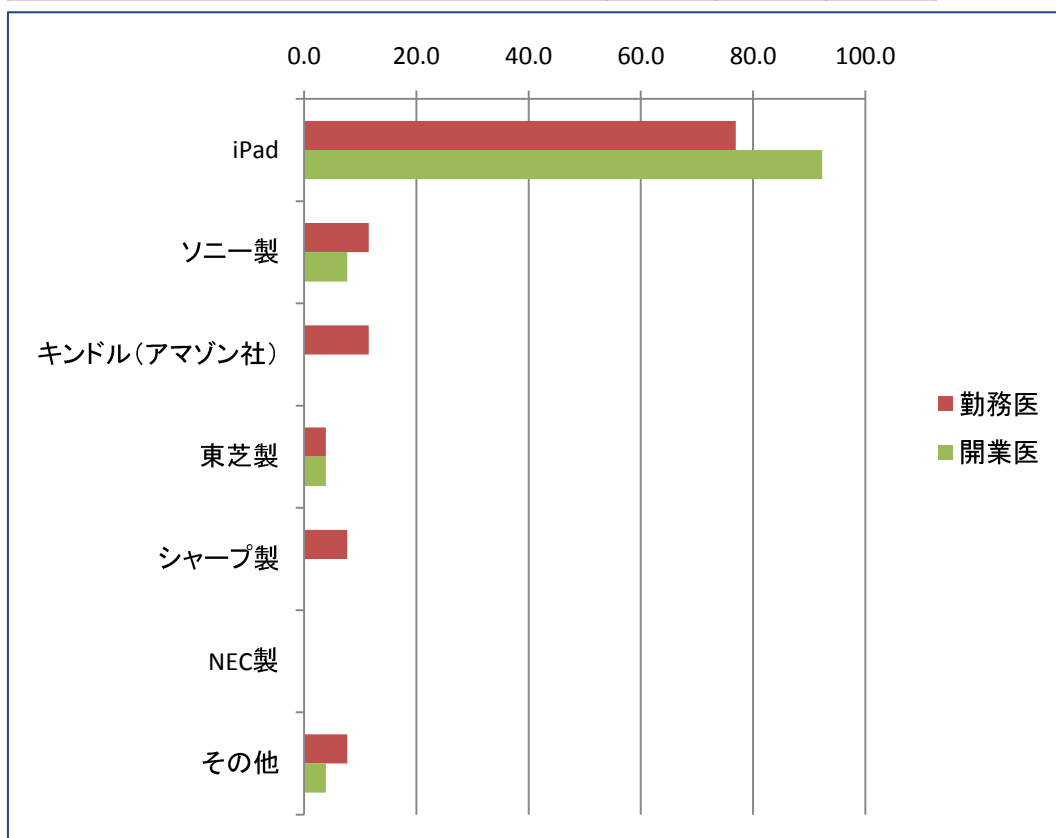


		スマートフォン				
		所有済み（貸与含む）	購入予定	もらう/貸与予定	予定なし	知らない
タブレット型端末	所有済み（貸与含む）	0.7%	1.7%	0.0%	2.3%	0.3%
	購入予定	2.7%	6.0%	0.3%	3.3%	0.0%
	もらう/貸与予定	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	予定なし	5.3%	10.0%	0.3%	59.7%	1.3%
	知らない	0.0%	0.0%	0.3%	2.0%	3.7%

5. どのタブレット型端末をお持ちですか。

所有者および所有予定者に具体的な機種を聞いたところ、iPadが8割を超えた。特に開業医には圧倒的に強い。勤務医ではiPad以外を所有/所有予定の人もおり、キンドル(アマゾン)とソニーの、すでに商品を上市済みのメーカーがどちらも11.5%を占めた。

	%		
	全体	勤務医	開業医
iPad	84.6	76.9	92.3
ソニー製	9.6	11.5	7.7
キンドル(アマゾン社)	5.8	11.5	0.0
東芝製	3.8	3.8	3.8
シャープ製	3.8	7.7	0.0
NEC製	0.0	0.0	0.0
その他	5.8	7.7	3.8
合計	113.5	119.2	107.7



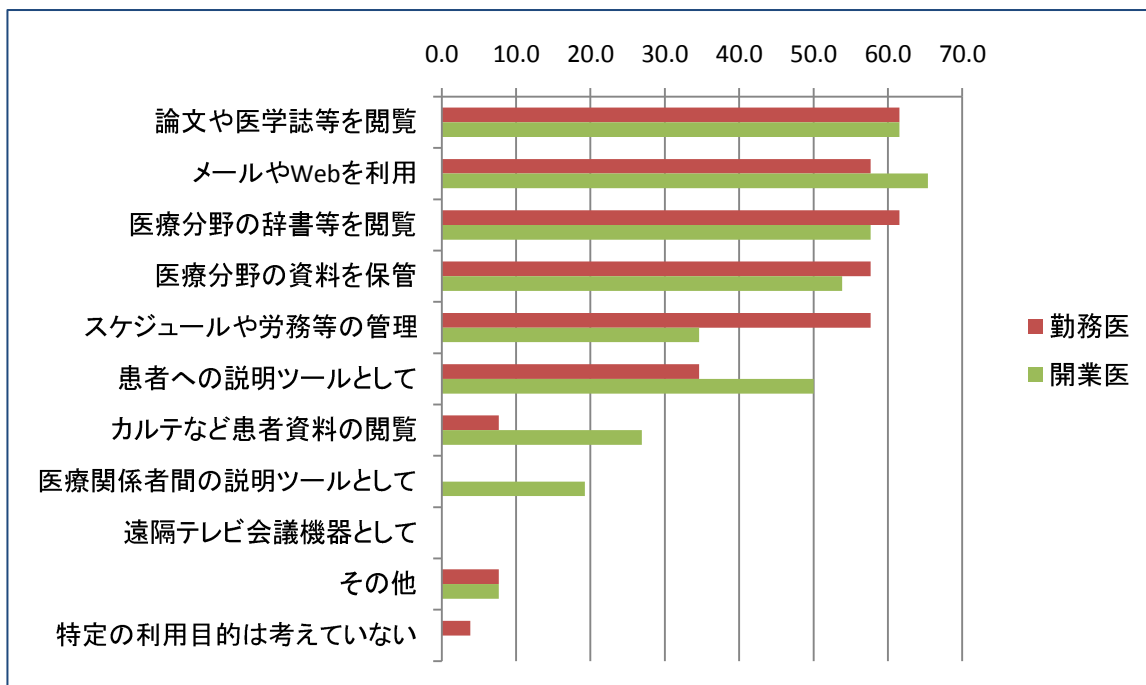
6. どんなことに【タブレット型端末】を利用しています/したいですか。 ※ゲーム遊びなど、仕事以外での利用法は除外します。 <選択肢型回答>

所有者および所有予定者に、その利用方法を尋ねたところ、勤務医で一人あたり3.5個、開業医で3.8個の利用法が選択された。「論文や医学誌等を閲覧」など専門分野のコンテンツを閲覧・保管するニーズが最も一般的で、続いて「メールやWeb利用」、「スケジュール・労務の管理」が挙げられた。その他では「学会発表用資材作成」「医療画像閲覧読影」「手術ビデオ」等が挙げられた。

なお、開業医の方が、利用法に分散傾向が強い。すなわち「患者への説明ツール」「カルテなど患者資料の閲覧」「医療関係者間の説明ツール」の3つは、開業医と勤務医とで、利用意向度に差が大きい。現在の勤務環境下でのITインフラ整備状況や使用制限などによるものだろう。

%

	全体	勤務医	開業医
論文や医学誌等を閲覧	61.5	61.5	61.5
メールやWebを利用	61.5	57.7	65.4
医療分野の辞書等を閲覧	59.6	61.5	57.7
医療分野の資料を保管	55.8	57.7	53.8
スケジュールや労務等の管理	46.2	57.7	34.6
患者への説明ツールとして	42.3	34.6	50.0
カルテなど患者資料の閲覧	17.3	7.7	26.9
医療関係者間の説明ツールとして	9.6	0.0	19.2
遠隔テレビ会議機器として	0.0	0.0	0.0
その他	7.7	7.7	7.7
特定の利用目的は考えていない	1.9	3.8	0.0
合計	363.5	350.0	376.9



本調査に関するお問い合わせ先:

株式会社QLife 広報担当 山内善行

TEL : 03-5433-3161 / E-mail : info@qlife.co.jp

<株式会社QLifeの会社概要>

会社名 : 株式会社QLife(キューライフ)

所在地 : 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂2-7-2 リングリングビルA棟6F

代表者 : 代表取締役 山内善行

設立日 : 2006年(平成18年)11月17日

事業内容 : 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念 : 生活者と医療機関の距離を縮める

サイト理念 : 感動をシェアしよう!

URL : <http://www.qlife.co.jp/>
